



# インテグリティに基づく設計と製造

当社の製品、当社のコミットメント、当社の行動

Chart 倫理およびビジネス行動規範

## Chart のミッション

エネルギー市場、産業ガス市場、生物医学市場向けの工学機器、システム、アフターサービスの成長率の高いグローバルニッチ分野でリーダーとなること。

- 当社の製品とサービスが顧客にもたらす価値により、多くの企業に選ばれるサプライヤーになること。
- 安全であり、倫理的であり、やりがいがあり、努力が報われ、個人的成長のための機会に恵まれた職場として、多くの人々に選ばれる雇用主となること。

## Chart のバリュー

### 安全

安全にできないならば、してはならない。

安全に行えたならば、良い仕事をしたこととなります。事故や傷害の大半は予防可能です。安全を犠牲にして追求するほど重要な事業目標は存在しません。

### インテグリティ

責任をもって有言実行を果たすこと。

あなたはどのようにインテグリティを示しますか？ インテグリティの土台を形成するものは、正直さ、信頼、敬意、公平性、責任感、そして自由な意見の交換です。

### 顧客志向

顧客こそが当社の存在理由です。顧客の期待と要求に応えることに当社は全力で取り組んでいます。

顧客のニーズを把握し、当社のビジネスのあらゆる面において革新を推し進めるとき、当社は顧客に最善のサポートを提供できます。

### 選ばれる雇用主

やりがい、努力が報われること、そして個人的な成長の機会。

従業員は、当社にとって最も価値のあるリソースです。我々の成功は皆さんにかかっています。すべての従業員に対し、個人としても職業人としても成長をもたらし、やりがいがあり、その努力が報われる経験を提供することが Chart の目標です。

### 有意な成長を積極的に求める

適切であり価値を高めるすべての戦略を追求してください。適正な価格を請求することを謝ってはなりません。

当社が設計し提供する高品質な製品は、しばしば数字で計り知れないほどの価値があり、当社の顧客のビジネスにとって非常に重要なものです。

Chartの全従業員の皆さんへ、

当社のビジネスは、設計と製造がすべてです。つまり、並外れた性能と耐久性のある製品を思い描き、それを製造することです。当社はさらに、顧客、株主、従業員、およびその他の利害関係者に今後も恩恵をもたらすための力を備えた企業の構築を目指してビジネスを続けています。Chartのバリューは、そのような企業になるための重要な構成単位です。これらのバリューを体現することは、他社が取引をしたいと望む企業、素晴らしい職場である企業としての当社の評判を高めることです。

本倫理およびビジネス行動規範は、Chartのバリュー、その中でも特にインテグリティを重要視しています。本行動規範は、皆さんを倫理的な人物にすることが目的ではありません。皆さんが倫理的であることは、すでに採用時に確認済みです。本行動規範の目的は、日々の業務で我々が誰しも直面する困難な問題に対処するときに支援を提供することです。本行動規範は、私たちが目指す企業の形に到達するための手助けとなる一つのツールなのです。

本行動規範に定められた基準は、皆さんが遭遇する大半の状況に当てはまります。本行動規範が直接当てはまらない場合は、倫理的な判断がなされることを期待します。本行動規範の基準をどのように適用すべきかわからない場合には、必ず上司または他のマネージャーに連絡し、ガイダンスを求めてください。

これらの基準を理解することは、皆さんの義務です。さらに同僚がこれらの基準に従っていない場合には、それを報告することも皆さんの責任です。

私は、すべての従業員が本行動規範に定める基準を実践してくれることを期待しています。私を含め上級経営陣も同じように行動していることを、私は皆さんに保証します。

サム・トーマス(Sam Thomas)  
会長兼CEO

## 目次

Chart のミッションとバリュー

CEO のメッセージ

目次

はじめに

同僚に対するインテグリティ

職場の安全  
敬意と公平な処遇  
従業員情報

取引先に対するインテグリティ

贈答品と接待  
公正競争  
汚職防止  
他社のビジネス情報の保護  
政府との取引  
国境を越えたビジネス  
環境保護

投資家に対するインテグリティ

財務システムおよび財務報告におけるインテグリティ  
正確な帳簿類  
財務報告  
財務システム  
社外関係者とのコミュニケーション  
インサイダー取引  
利益相反  
会社資産の責任ある使用  
物理資産  
コンピューターおよび電子的リソース  
会社情報  
コミュニティと政治参加

不正についてアドバイスを求め報告するためのリソース

意思決定のためのガイドライン

証明

## はじめに

### 当社のバリューと行動規範

Chart の倫理およびビジネス行動規範の「インテグリティに基づく設計と製造」(以下、「本行動規範」)の内容の中心は、インスピレーションと期待です。それは、当社との連携に極めて大きな価値を見出している人々(取引を行う顧客や関係するすべての人々)に我々の情熱を伝えることに、我々が大いに鼓舞されていることです。本行動規範はまた、我々が互いに、同僚、取引先、そして投資家のために、毎日のビジネス実施のあらゆる場面でインテグリティに基づく行動をとることへの期待を反映しています。

インテグリティとは、当社の礎であり、我々のあらゆる行動と決断を導くものであるべきです。

#### インテグリティの特徴

正直さ	公平性
信頼	責任
敬意	自由な意見交換

### インテグリティに基づき行動する責任を理解する

当社の全従業員は、本行動規範を読みその内容を理解し、日々の業務において本行動規範に定められている基準に従う必要があります。しかし本行動規範は、我々が行動する上での**最低基準**とみなすべきです。なぜなら、Chart の本社は米国に存在しますが、米国はもちろん、当社がビジネスを行うその他の国々のすべての法律、規則、規制上の命令、そして規定にも従うことが求められているからです。本行動規範を順守することが法律と相反する場合は、法律を順守しなければなりません。本行動規範は、Chart のコーポレートポリシー(以下の「不正についてアドバイスを求め報告するためのリソース」を参照)および適用される Chart のその他のポリシー(これらのうちのいくつかは本行動規範において言及されています)をあくまでも補足するものであり、これらに取って代わるものではありません。不正の可能性については、それに気づいた場合だけでなくそれについて耳にただけであっても、上司またはその他のリソースに連絡する必要があります。加えて、どのような判断が本行動規範の基準に最もふさわしいのか定かでない場合は、必ず相談する必要があります。

上司とマネージャーの立場にある者は、本行動規範と関連する法規制について、詳細な知識を有している必要があります。こうした知識を有することで上司とマネージャーは、自分の部下の従業員がガイダンスを求めることができる有用なリソースとなることができます。最も重要な点として上司とマネージャーは、本行動規範の原則を日々実践し、責任ある行動の模範を部下に示すことです。

本行動規範は、Chart Industries, Inc.と Chart Industries, Inc.が過半数の所有権を保有する全世界の子会社(以下、集合的に「Chart」または「当社」)に勤務するすべての取締役、役員、および従業員(以下、集合的に「従業員」)に適用されます。Chart の上級役員には、本行動規範に加えて「Chart 役員倫理規範」が適用されます。取締役会のみが、そのいずれかのメンバーまたは上級役員に対して本行動規範の定め適用を免除することを承認する権限を有しており、この免除については 2002 年サーベンス・オクスリー法に従って情報開示されるものとします。Chart ゼネラルカウンセルのみが、当社の従業員に対して、本行動規範の定め適用を免除することを承認する権限を有します。さらに当社は、本行動規範に対する変更があった場合には速やかに開示します。

## 同僚に対するインテグリティ

コミュニティにおいて選択される雇用主になることを目指すというコアバリューに基づき、Chart は生産的かつ安全な労働環境を提供することにコミットしています。このような環境は、我々の個人的な成長と職業人としての成長を奨励し支援することであり、当社に見返りを与えてくれるものです。

我々は、責任感、正直さ、信頼、敬意、公平性という概念を共有する仲間であり、互いに対してインテグリティを行動で示します。

**ガイダンス:** ビジネスの実施に関する法規制および現地の慣習は、国によって異なります。これは特に、雇用関係において顕著です。重要なことは、当社の基準が現地の雇用関係の事項にどのように適用されるかを把握しておくこと、そして確信が持てない場合にはアドバイスを求めることです。

### 職場の安全

Chart は、どのような理由であれ決して安全を犠牲にしません。なぜなら当社はバリューとして、「安全にできないことは、してはならない」と掲げているからです。我々の各自が、我々のすべての行動において、当社の顧客、同僚、そして自分自身に対して責任を負っています。我々は、安全な環境を維持するうえで相互に信頼しています。Chart は、いかなる類の暴力的なふるまいを禁止しています。加えて当社は、アルコールやドラッグの使用により酩酊状態で職場の敷地内にいることは、誰であっても許容しません。

### 敬意と公平な処遇

Chart は、同僚に対して常に敬意をもって接することについて、従業員を頼りにしています。敬意と公平性の原則に従って、Chart は、個人の資格と会社としてのニーズに基づいて人員の募集、採用、トレーニング、および昇進を行うことにコミットしています。考慮に入れることが不適切または違法である個人的な特徴に基づいて採用の判断を下してはなりません。当社がビジネスを行う一部の国では、人種、年齢、ジェンダーなどの個人的な特徴に基づいて雇用上の差別を行うことが禁止されています。

当社は、同僚へのハラスメントを含め、他者に対して無礼な行為はどんな形であれ許容しません。そのようなふるまいの例として、軽蔑的なコメント、迷惑な性的な誘い、敵意のある職場環境の創出、性的関係の見返りとしての業務上の優遇の提供が挙げられます。

### 従業員情報

当社は、従業員のプライバシーを尊重し、従業員の個人データ（給与や健康上の情報など）のプライバシー保護に熱心に取り組んでいます。個人識別情報は、安全かつセキュリティの高い方法で取り扱われます。Chart は、当社が特定の情報を共有できる方法または情報がある国から別の国に移転できる方法を示した詳細な手順に従います。質問がある場合、倫理担当者に問い合わせてください。

**ガイダンス:** EUとその加盟国は、この分野において特に厳格な法律と手順を定めています。自身が個人識別情報の取り扱いに関し何らかの責任を負っている場合、自身を担当する倫理担当者に連絡してください。

## 取引先に対するインテグリティ

当社が顧客、サプライヤー、および代理店から信頼を得ることができるのは、我々がインテグリティに基づいて行動するからです。顧客のニーズに基づいて高品質な製品とシステムの設計と製造を行う企業としての当社の評判は、本行動規範により導かれた正直な行動によって支援されるものです。

当社は常に、公正かつ倫理的にビジネスを行うよう努めます。さらに、オープンで信頼される関係を築くことへの当社のコミットメントを取引先が共有してくれることを目指しています。

### 贈答品と接待

Chart は、品質、信頼性、価格などの要素に基づいて購入と販売を行います。当社は、すべての取引においてインテグリティと透明性をもって行動します。受領側であろうと提供側であろうと、贈答品と接待はすべて、慎ましい範囲でありかつ合理的な価額のものであるとともに、売買のいずれにも影響を与えることを意図していない必要があります。倫理担当者は、250 米ドルを超える贈答品には事前承認を行う責任を負います。ただし、合理的かつ慣習的なビジネス目的の接待や会食を除きます。250 米ドルを超える贈答品を提供された従業員は、丁重に断ることも返還することもできない場合、倫理担当者に連絡してガイダンスを求めする必要があります。

Chart がビジネスを行う各国では、贈答品と接待の交換に関する現地の慣習が存在します。これらの現地の慣習が適切であるかどうかについて疑問があるビジネスユニットマネージャーまたはカントリーマネージャーは、倫理担当者に連絡してガイダンスを求めする必要があります。

**例:** アジアの一部の地域では、日常的に取引先との間で贈答品を交換する伝統があります。当社は当社のポリシーを順守し、かつ現地の慣習を尊重する必要があります。

### 公正競争

当社は、積極的かつ公正な競争を行うことに全力で取り組んでいます。当社はさらに、顧客の期待と要求に常に公正な方法で応えるというバリューにコミットしています。当社とサプライヤー、顧客、および競合他社との間のやり取りのうち、特定のものには認められていません。例えば、以下は法律と企業ポリシーにより禁止されています：

- 価格情報または戦略情報の共有や、顧客グループ、市場、または地域の分割についての合意など、競合間における特定の種類の協調
- ある製品またはサービスを購入するために無関係の製品を購入することを顧客に不適切に義務付ける契約など、不公正に競争を制限することとなる顧客またはサプライヤーとの契約

**例:** 不公正な競争慣行である可能性がある行為には、次のものが含まれます：

- 価格または市場条件についての競合企業間での協調
- 市場ポジションの不正な利用
- 再販売価格を設定するための顧客への働きかけ
- 特定の状況における略奪的価格設定

当社がビジネスを行う国々では、公正競争に関連した法律への対処が非常に複雑になる可能性があります。特定の競争上の問題について疑問がある場合、会社の顧問弁護士か倫理担当者に連絡してガイダンスを求める必要があります。

**例:** 談合または価格操作と解釈される可能性のあるやり取りを競合他社と行うことは、避ける必要があります。業界会議、業界団体の会合、および展示会に出席する際や、競合他社とコミュニケーションを取る際には、不適切な協調を行っているという印象を周囲に与えていないかについて、特に敏感である必要があります。

当社の競合他社に関するマーケティングとビジネス上の情報を収集するにあたり、当社は倫理的かつ合法的手段のみを使用します。これらの情報の最も適切な情報源の例は、公開された情報です。

### 汚職防止

贈賄は、公正取引に対する Chart のコミットメントに違反する行為であり、当社はそのような一切の汚職行為への関与を拒絶します。一般的に汚職は世界中で禁止されています。汚職に関する違反は、個人にも会社にも重大な制裁が科されることとなります。これには、民事上と刑事上の双方の罰則が含まれる可能性があります。賄賂は、金銭、サービス、または豪華な贈答品のいずれかの形式で提供される場合があります。賄賂の要求は率直に行われることもあれば偽装して行われることもあり、これには販売業者などの代理店が関与する可能性があります。贈賄につながる可能性のある取り決めがなされていないかについて警戒が必要です。特に、汚職が文化的に許容されている国で当てはまります。当社の代理店および販売業者を選定し監視する際には、相当な注意を払うことが特に重要です。Chart の「贈賄防止コーポレートポリシー」の内容を熟知し順守することは、Chart の全従業員の責任です。

**ガイダンス:** 米国の「海外腐敗行為防止法」および OECD の「国際商取引における外国公務員に対する贈賄の防止に関する条約」が、Chart の世界各国の事業に適用されます。Chart は、当社がビジネスを行ういずれかの国において政府職員またはその他の公務員（公的企業の役員を含む）の判断に影響を与えることを意図して、当社の従業員または代理店が直接・間接を問わず支払いという手段を利用した場合、その責任を問われます。罰則の内容は重大になる可能性があり、刑事上の罰則が科される場合もあります。

### 他社のビジネス情報の保護

時折、共同プロジェクトの一環としてサプライヤーと顧客が自社の専有情報を当社に提供することがあります。例えば、サプライヤーの原材料の新規用途の開発を当社が支援する場合や、顧客のために専用の設計を当社が行う場合です。敬意とプライバシーに対する当社のコミットメントに従い、当社はこれらの情報を機密情報として取り扱い、不適切な開示から保護する必要があり、第三者への開示は許可が得られた場合にのみに限られます。

### 政府との取引

当社は、インテグリティに関して、民間部門の顧客に対して当社が有する評判と同等の評判を、公的部門の顧客に対しても獲得したいと望んでいます。政府または政府系機関とビジネスを行う際には、政府による調達を対象とする特定の規則と規定が通常存在するため、当社はそれらに従うことが重要です。さらに当社は、当社のビジネスに対する規制当局の職員に敬意を払い協力します。

### 国境を越えたビジネス

## 輸入規制

当社は、輸入記録の正確性に依存しています。具体的にはこれらの記録は、輸入品目の正確な分類と評価額を示している必要があります。すべての追加的な輸入関連書類は、正確であると同時に適用される規制を順守していることが必要です。

## 輸出規制

多くの国々では、製品および技術の輸出に制限を設ける法律が定められています。特に、直接的な軍事目的で使用される品目はこれに該当します。輸入という言葉の定義は、広範かつ複雑なものになり得ます。例えば、異なる国々のChartの従業員同士の間で行われる、設計図や情報などの知的財産の電子的送信でさえも、輸出とみなされる可能性があります。我々は、輸出関連法およびその他の貿易関連法に対する順守を確保することを目的とした、Chartの「貿易関連法ポリシー」に従う責任を負っています。特定の取引について疑問がある場合は、倫理担当者に連絡する必要があります。

**ガイダンス:** 米国の規制当局は、特定の製品、サービス、技術データ、およびソフトウェアを外国に輸出すること、そしてこれらの品目を米国外の地域から別の地域へ再輸出することを制限しています。米国の輸出関連法はさらに、禁止対象の国、禁止対象の個人、または禁止対象の用途のために、製品の輸出または再輸出を行うことを禁止しています。すべての従業員は、Chartが発行した輸出コンプライアンス関連のポリシー、マニュアル、および指示を順守することが求められます。

## マネーロンダリング

麻薬の密売、テロ関連活動、その他の違法な活動に関与した個人が、違法に獲得した資金を正当な企業を利用して処理しようと試みる行為は、「マネーロンダリング」と呼ばれています。多くの国々は、マネーロンダリングを禁止しています。Chartの利益を保護するため、我々は、評判の高いサプライヤーおよび顧客のみとビジネスを行う必要があり、一切の取引についてその根本的な背景を合理的な範囲で認識している必要があります。

## 禁輸とボイコット

多くの国々では、特定の国やそれらの国の企業および市民を相手とする取引に制限を設けることを禁じています。米国を拠点とする企業として、当社は米国のガイドラインを順守する義務がありますが、これらのガイドラインは、外国が課している制限的貿易慣行または経済的禁輸措置に協力することを米国企業に禁じている場合があります。禁輸関連の要求を受けた場合、倫理担当者に照会する必要があります。

**例:** アラブ連盟がイスラエルをボイコットしているため、購入品目にイスラエルで製造された製品が含まれていないこと、または購入品目がイスラエルの船舶で輸送されないことが、中東の銀行からの信用状で要求されていることがあります。米国の法律では、これらの要求に従うことを禁止しています。

## 環境保護

Chartは、地域のコミュニティの一員となる機会の価値を評価しており、これらのコミュニティに当社が与える影響に配慮しています。Chartは、環境関連の法規制に掲げられている理念とそれらに明示されている要件に従います。当社は、経済的に実現可能である限り、環境に対する当社の影響を削減することにコミットしています。

## 投資家に対するインテグリティ

Chart の投資家は、当社の売り上げと利益の成長の達成において、我々を頼りとしています。これは、積極的に収益性のある成長を求めるといふ当社のバリューにも寄与することです。投資家の期待に応えるために、我々は、当社の財務システムにおける正直さと正確性を確保し、当社のリソースを賢明な方法で使用し、インテグリティに基づいて当社のために行動するという我々のたゆまぬコミットメントを実証します。

我々は Chart に対する投資家の信頼を維持する必要があるため、一人ひとりがインテグリティに基づいて行動することが求められます。

### 財務システムおよび財務報告におけるインテグリティ

Chart は、ビジネスの円滑な実行のために、生産記録や販売記録などの正確な記録に依存しています。公開会社として Chart は、証券規制を順守するために正確かつ正直な財務報告を提出する義務を果たします。当社の全員がこれらの報告のための情報を提供し、これらの報告を作成し提出するうえで重要な役割を担っているのです。

#### 正確な帳簿類

我々の一人ひとりが、正確かつ適時にすべての記録作成が行われるようにする責任を負っています。タイムカード、在庫数量表、経費報告書、および会計帳簿はいずれも、これらの記録の例です。

#### 財務報告

当社はこれらの詳細な記録を使用して財務報告書などの書類を作成し、米国の証券取引委員会および当社の上場先であるナスダック証券市場などの規制当局に対して提出します。これらの提出書類が完全、公正、正確、適時、かつ理解可能であることを確保することに、我々は特に配慮する必要があります。

#### 財務システム

Chart は、米国のサーブンス・オクスリー法などの法律および原則で求められる厳格な会計上の原則、基準、および手順や、一般に受け入れられている会計原則に従います。結果として、当社は財務報告書を正確かつインテグリティのある内容で作成することに努めています。ビジネスを行うすべての国において、Chart は同一の厳格な原則、基準、および手順に従う必要があります。なぜなら、これらの国々での業績は、Chart の全体的な報告システムにとって不可欠な構成要素だからです。

財務部門および会計部門に従事する従業員は、その他の従業員がすべての管理措置と手順に従っていることを確保します。手順上の不正または悪用の事実または疑いに気づいた場合、我々は直ちに報告メカニズムまたは Chart 倫理ホットラインを使用してその状況を報告することが求められています。本行動規範と別個の文書である「Chart 役員倫理規範」には、財務システムと財務報告に関する追加情報が記載されています。

**例:** 財務報告の分野では、以下の 3 つの原則が特に重要です:

- 我々は、Chart の業績を故意に偽って報告することや、当社の報告書、記録、ポリシー、または手順書のインテグリティを故意に毀損してはいけません。
- 我々は、社内監査員と当社が起用する第三者監査員による当社の財務システムと財務記録の調査が行われる際に、協力することが求められています。

- 取締役会の監査委員会は、Chartの財務システムと財務報告のインテグリティと正確性を確保するうえで、重要な役割を担っています。CEOと上級財務役員には、不正確な開示内容、社内統制上の不備、または詐欺の証拠を、速やかに取締役会の監査委員会に報告することが求められています。我々がこうした問題に気づいた際には、誰でも倫理ホットラインを使用して監査委員会に報告することができます。

## 社外関係者とのコミュニケーション

公開企業として Chart は、重要情報を一般に開示する義務を負っています。Chart の正式な広報担当者として特定の個人が指定されています。これらの広報担当者は、すべての問い合わせに対して、完全であり、正確であり、客観的であり、関連性があり、適時であり、かつ理解可能な回答を提供するために、あらゆる合理的な努力を行います。その他の従業員は、投資家、リポーター、財務アナリスト、友人などから当社の情報を要求された場合には、自ら回答するべきではなく、指定の広報担当者にその要求を照会する必要があります。投資家、財務アナリスト、業界団体、またはメディアに対する正式なコミュニケーションとプレゼンテーションも含め、Chart を代表して一般に向けて行われるすべてのコミュニケーションについては、最高財務責任者またはその被指名人による事前承認が必要です。しかし、あなたが何らかの情報開示が重大な誤解を引き起こす内容であると考えられる場合や、一般に開示されるべきと考える重要情報があると認識した場合、あなたはその情報について最高財務責任者またはゼネラルカウンセルに報告する責任を負います。

## インサイダー取引

Chart の従業員である我々は、当社にとって正直さと敬意をもって行動することの重要性を理解しています。このコミットメントを示す一例として、Chart や取引先がまだ公開していない重要情報を我々が知っている場合、我々はその株式の売買を行うことはできません。そのような売買は「インサイダー取引」と呼ばれ、大半の国では違法です。それに加えて、かかる情報を知っている従業員は、その情報に基づいて当社の株式を売買する可能性がある個人にその情報を提供することはできません。この行為は、「ティッピング」(内部情報漏洩)と呼ばれています。この類の行為は、Chart の「インサイダー取引ポリシー」に対する違反です。Chart のすべての従業員は、Chart の「インサイダー取引ポリシー」の内容を熟知し順守する責任を負っています。Chart または取引先についての重要な非公開情報を自分が知らないか注意してください。知っている場合にはあなたはその会社の株式を売買することはできません。

例：インサイダー情報に相当する可能性がある情報の例としては、以下があります：

- 新規顧客との間の数百万ドルの契約の思いがけない締結
- 大規模な買収
- 公開されていない重要な新製品ライン

## 利益相反

我々は、責任感、正直さ、信頼、敬意、および公平性の概念を共有することにより、お互いに対してそして Chart に対して、インテグリティを示しています。インテグリティに対するこの個人的なコミットメントは、我々の個人的な活動と当社の利益との間で相反があった場合に、そして相反があるように見える場合にですら、損なわれてしまいます。当社は、すべての利益相反の事実と疑いを調査します。

## 社外の活動と金銭的利益

Chart に対する我々の忠誠心は重要な要素です。なぜなら、Chart が我々の主たる雇用主だからです。Chart に対する我々のコミットメントを損なうような、あるいは職務の実施において我々を客観的な立場に立て

なくするような社外の仕事を行うことは、有償・無償にかかわらず避ける必要があります。利益相反の可能性が生じた際には、上司に相談する必要があります。

さらに我々は、サプライヤー、顧客、および競合他社について金銭的な利益を有することを避ける必要があります。ただし、公開企業の株式による場合や、個々の株式の売買について自分が管理できない投資（投資信託など）による場合は除きます。

#### 利益相反の例:

- 我々は、職務上発見したアイデアまたは機会を個人的な利益のために使用することは認められていません。さらに、我々は決して、当社と競合するべきではありません。
- 我々は、具体的な承認を得ることなく、家族や親しい友人と共に当社のビジネスを実施するべきではありません。
- 当社は、例えば従業員の家族であっても、各自が特定の雇用要件を満たす資格を有しているのであれば、一名以上を雇用する場合があります。しかし直接・間接を問わず、自身がそうした親族の職務上のパフォーマンスの監督を行うべきではありません。

**ガイダンス:**一部の国では、現地の文化上、家族の雇用と監督について米国とは異なる見解である場合があります。カンントリーマネージャーは、既存の従業員の家族を雇用することに関し、Chart の基準について疑問がある場合、倫理担当者に連絡する必要があります。

### 会社資産の責任ある使用

投資家と Chart に対する我々のコミットメントを果たすため、我々はすべての当社の資産を合理的に使用することが求められます。これらの資産には、物理資産、コンピューターなどの電子システム、およびビジネス情報などの無形資産が含まれます。

#### 物理資産

我々は、ツール、機器、物資、および在庫を慎重かつ安全に使用する必要があります。我々は決して、機器に損傷を与えたり、製造物資を個人的な用途（例えば、家の修繕など）で使用したりするべきではありません。

#### コンピューターおよび電子的リソース

Chart のコンピューターおよび通信機器（電話、情報システム、E メール、およびインターネット回線を含む）は、業務を目的としたものです。これらのシステムを使用してコミュニケーションをとる際には、我々はプロフェッショナルにそれを行う必要があります。上司の承認があった場合に限り、電話、E メール、コピー機などの機器を非常に限られた範囲で私的に使用することができます。許容されている場合には、Chart は従業員がこれらのリソースを悪用していないことを確認するために従業員の活動を監視することがあります。Chart のすべての従業員は、自身に適用される Chart の「電子通信ポリシー」の内容を熟知する責任を負います。

#### 会社情報

Chart の非公開情報は、貴重な会社資産です。特定の情報は特に重要性が高く、機密情報として取り扱わなければなりません。こうした情報の例としては、財務情報、経営企画と計画、マーケティング戦略、顧客やサプライヤーのリスト、新製品計画、および製品やプロセスの設計などが挙げられます。我々は、「知る必要性」がある場合にのみ、機密情報について同僚と話し合うべきです。我々は、Chart での雇用期間中に加え退職後も、機密情報が社外へ開示されないよう保護しなければなりません。ただし、法律上求められた場合や、Chart の業務目的のためであって、その情報の悪用を防ぐための適切な措置が講じられている場合は除きます。

「知的財産」とは、Chart のために創出された情報や知識であり、当社が保有し、特許、著作権、商標、またはサービスマークにより保護しているものを指します。特定の知的財産は「営業秘密」と呼ばれ、当社の事業運営と成功にとって非常に重要です。我々には、Chart での雇用期間中および退社後においても、Chart にとっての営業秘密の価値を保護するために、それらの情報の機密性の維持を怠らないことが求められています。製造プロセスの改善や特許性のある発明など、我々の個々の作業成果物の所有権は Chart に属します。

#### コミュニティと政治参加

Chart は、従業員が地域のコミュニティに参加することを奨励しています。そうした参加をするにあたって、そして当社に対する我々の責任を反映するにあたって、我々は特定の理念、候補者、政党、または政治的争点と、当社を結びつけてはなりません。さらに、政治活動を支援する際には、我々は当社の資産を尊重する必要があり、コンピューターやコピー機などの当社のリソースを使用すべきではありません。

Chart は、政治献金とロビー活動のための支出に関する、すべての法律を順守する必要があります。いずれかの国において、政党または公職立候補者に対して当社（または当社を代表する従業員）が直接・間接を問わず献金を行うこと、またはそれらのために費用を引き受けることは、ゼネラルカウンセルの事前承認がない限り禁止されています。

## 不正についてアドバイスを求め報告するためのリソース

我々は、倫理とコンプライアンスに関連して疑問があれば、答えを求める必要があります。さらに、不正の可能性を報告しなければいけません。

例：日常業務において、我々は様々な倫理上の問題に遭遇する場合があります。以下はその一例です：

- 行動が合法または倫理的であるかを判断する際にアドバイスが必要となった
- 不正に気づいた
- 当社の評判を損なう可能性がある活動に気づいた

会計、社内統制、または監査に関する懸念がある場合には、倫理担当者または Chart 倫理ホットラインを通して監査委員会に報告することができます。

### リソース

Chart は、倫理上およびコンプライアンス上の問題に対処するために、以下の複数のリソースを用意しています。

1. 重要なトピックに関する Chart のポリシーを読む。各ポリシーには追加の詳細情報が記載されており、「コーポレートガバナンス」セクションの SharePoint からアクセスできます。
2. 上司または自分の組織内のその他のマネージャーと話す。
3. Chart の倫理担当者に E メールを送る：[ethicsrepresentatives@chart-ind.com](mailto:ethicsrepresentatives@chart-ind.com)
4. Chart 倫理ホットラインに連絡する：
  - ボイスメール：1-800-868-8541（米国内の場合）。米国外のフリーダイヤルの電話番号は、[www.ethicspoint.com](http://www.ethicspoint.com) で確認してください。
  - ウェブサイト：[www.ethicspoint.com](http://www.ethicspoint.com)

### 報告の機密性

当社は、倫理ホットラインへの連絡を含め倫理上またはコンプライアンス上の懸念についてのすべての報告を、機密情報として取り扱います。経営陣は、申告された不正の調査の関係者のみと情報を共有します。まれに法的調査の一環としてまたはビジネス上の目的のため、不正の疑いの報告に関する情報を提供する必要性が当社にある場合があります。

### 匿名の報告

倫理ホットラインには、希望により匿名で懸念を報告することができます。ただし、一部の懸念については、それを報告した者の身元情報がないと完全な調査が行えないことに留意してください。

**ガイダンス：**従業員は、本行動規範に対する違反またはその疑いを上記のリソースを使用して速やかに報告する義務があります。

## 結果

Chart は、申告された不正について調査を実施するプロセスを設置しています。調査に関する情報は、その調査の関係者のみで共有されます。調査の目的は、その不正に関し、情報の正確性、重大性、頻度、目的を究明することです。調査結果に基づいて、最高コンプライアンス責任者およびゼネラルカウンセルが、不正が行われたどうか、および適切な懲罰措置を決定します。懲罰措置には、適切な場合には解雇が含まれます。本行動規範の原則を順守することが、当社における継続的な雇用のための一つの条件です。法律違反があった場合、当社は違反者を適切な当局に通報することがあります。状況によっては、違反者は民事上または刑事上の訴追の対象になる場合もあります。取締役会のメンバーまたは当社の役員が申告された不正に関与している場合、取締役会は調査の実施と懲罰措置の決定のために規定の手順に従います。

## 報復の禁止

当社は、不正の可能性を誠実に報告した従業員に対する報復を行うことも、報復の脅迫を行うことも禁止しています。当社は、報復の疑いが報告された際には調査を行い、該当する個人に懲戒処分を課します。さらにすべての従業員は、Chart の「内部告発ポリシー」により保護されています。

## 意思決定のためのガイドライン

本行動規範は、起こり得るすべての倫理上の問題を網羅しているわけではありません。状況によっては、基準が相反しているように思える場合もあります。また、従業員が状況について確信が持てない場合もあります。そうした状況では、以下の質問を自分に問いかけることにより、正しい判断を下す手助けとなる場合があります。

- 自分は判断を下すにあたって、関連するすべての事実を把握しているか？
- 自分が下そうとしている判断は、適用されるすべての法規則を満たすだろうか？
- 判断は、当社のポリシーの要件を満たすだろうか？
- 判断は、インテグリティやその他のバリューに対する Chart のコミットメントに合致しているか？
- 判断は、本行動規範と整合しているか？
- 判断は、メディア、投資家、当社のビジネスを監督する規制当局から、どのように受け止められるだろうか？
- 判断は、一般に受け入れられている価値観から見て正しいものだろうか？

それでも正しい判断について不確かな時は、14 ページに記載のリソースのいずれかにガイダンスを求める必要があります。あなたは、自分一人で判断を行う必要はありません。

## 証明

私は、Chartの倫理およびビジネス行動規範(以下、「本行動規範」)を受領したこと、そして本行動規範に定められている基準の内容を熟知する責任を自分が負っていることを認めます。

私は、自分が業務を行う際にインテグリティに基づいて行動することが、当社から期待されていることであると理解しています。

私は、本行動規範に定められている基準に完全に従い順守することが自分の義務であることについて、同意し理解しています。

私は、本行動規範に定められている基準に違反した際には、解雇を含む懲罰措置が自分に課される可能性があることを理解しています。さらに私は、違反によっては民事上または刑事上の訴追の対象となる場合があることを理解しています。

私は、本行動規範に対する違反が現時点で存在していると自分が認識していないことを認めます(もし認識している場合、その違反の内容を記載してください)。

私は、今後いかなる時でも本行動規範に対する違反を認識した際には、当社に通知する義務を継続的に自分が負っていることを理解しています。

---

署名

日付

---

活字体氏名